

P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

		担当局	病院局
		担当課	経営課
		課長名	春日
		施策番号	
		I - 1 - (1) - ③	
事業名	総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営		
事業概要	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な周産期医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療を24時間体制で提供します。		■ 直営 □ 補助金 □ 全部委託 □ 負担金 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他
コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費、医療機器導入費等を記載しています。
	2,522,039 千円	2,400,982 千円	目金の金額
		課長	人
		係長	人
		職員	人
(人件費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの医師・看護師・医療技術員等の人件費を記載しています。			

【Action】改善			
課題	H23年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	引き続き、必要な医師の確保や医療機器の更新等により、医療体制(24時間体制)の確保に努めます。
	総合周産期母子医療センター、小児救急センターともに必要な医師の確保や必要な医療機器の更新等により、医療体制(24時間体制)を確保できました。		

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	順調	
	・総合周産期母子医療センター(市立医療センター) ・小児救急センター(市立八幡病院)	・出生前から出産後まで母子に対する専門的な周産期医療の提供の実現のため24時間体制を確保します。 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実	上段:23年度実績 下段:24年度実績 25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由		
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度	運営体制の確保	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	総合周産期母子医療センターでは、24時間体制での周産期医療提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができませんでした。	
	小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の24時間体制)の確保・充実	運営体制の確保	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	また、小児救急センターでは、24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができました。	
	市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度	運営体制の確保	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実		

活動計画	どのようにして目的を達成するか 【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	順調		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	上段:23年度実績 下段:24年度実績 25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由		
	総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や医療器械の更新などを行います。	運営体制を確保できました。	運営体制の確保	運営体制を確保できませんでした	左記活動指標のとおり、市立医療センター、市立八幡病院ともに必要な医師の確保や、医療器械の更新を行いました。	
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)	運営体制を確保できました。	運営体制の確保	運営体制を確保できませんでした		
	小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や医療器械の更新などを行います。	運営体制を確保できました。	運営体制の確保	運営体制を確保できませんでした		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	成果や活動の状況については、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での周産期医療の提供、小児救急センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができたため、順調としています。
「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	市立病院では、公立病院の果たすべき役割を踏まえ、民間病院では採算性の確保が困難な政策的医療として周産期及び小児救急医療を24時間体制で提供しています。

P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

事業概要							担当局	病院局	
							担当課	経営課	
							課長名	春日	
事業名	総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営						施策番号		II - 1 - (2) - ①
							事業概要	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な周産期医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療を24時間体制で提供します。	
コスト	事業費	25年度当初予算額	25年度執行額	事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費、医療機器導入費等を記載しています。	人件費	目金の金額		課長	人
	2,522,039 千円	2,400,982 千円	1,699,609 千円			係長	人	職員	人

【Action】改善				
課題	H23年度の評価結果を受けての課題	総合周産期母子医療センター、小児救急センターともに必要な医師の確保や必要な医療機器の更新等により、医療体制(24時間体制)を確保できました。	見直し内容	引き続き、必要な医師の確保や医療機器の更新等により、医療体制(24時間体制)の確保に努めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) ・総合周産期母子医療センター(市立医療センター) ・小児救急センター(市立八幡病院)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な周産期医療の提供の実現のため24時間体制を確保します。 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	順調	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実 市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。	運営体制の確保	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	%	総合周産期母子医療センターでは、24時間体制での周産期医療提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができませんでした。 また、小児救急センターでは、24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができました。
	(最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度	運営体制の確保	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	%	
	小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の24時間体制)の確保・充実 市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。	運営体制の確保	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	%	
(最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度	運営体制の確保	運営体制の確保	運営体制の確保	%		

【Check】評価(分析)						
活動計画	どうやって目的を達成するか 【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	順調		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	運営体制を確保できました。	運営体制の確保	運営体制を確保できました	%	左記活動指標のとおり、市立医療センター、市立八幡病院ともに必要な医師の確保や、医療器械の更新を行いました。
	総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や医療器械の更新などを行います。	運営体制を確保できました。	運営体制の確保	運営体制を確保できました	%	
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)	運営体制を確保できました。	運営体制の確保	運営体制を確保できました	%	
小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や医療器械の更新などを行います。	運営体制を確保できました。	運営体制の確保	運営体制を確保できました	%		

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	成果や活動の状況については、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での周産期医療の提供、小児救急センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができたため、順調としています。
	【経済性】 (同成果を低コストで) 【効率性】 (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	市立病院では、公立病院の果たすべき役割を踏まえ、民間病院では採算性の確保が困難な政策的医療として周産期及び小児救急医療を24時間体制で提供しています。

P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

事業概要							担当局	病院局
							担当課	経営課
事業名 八幡病院の移転・建て替えの推進							課長名	末吉
							施策番号	
事業概要 昭和50年代に建設され、老朽化や狭隘化が進み、一部が新耐震基準を満たしていないなど、施設面に課題がある市立八幡病院の移転・建て替えを行います。							事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
コスト	事業費	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長	1.00 人
		35,000 千円	0 千円	平成26年度に繰越して執行したため、25年度執行額は0となります。		29,000 千円	係長	1.00 人
							職員	1.00 人

【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	
-----------	-------------------	--------------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)			成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	-
	市立八幡病院	市民の安全・安心を守るため、救急医療・小児医療・災害医療を充実・強化し、より質の高い医療を担う新病院を整備します。					
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 23年度実績 下段: 24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況評価理由 建設事業のため単年度評価は行いません。		
	救急・小児・災害医療を充実・強化するため移転・建て替えを推進します。市民の安全・安心を守る、より質の高い医療の提供と、地域社会への積極的な医療貢献を担う施設の実現を目指します。代表的な成果指標は、基本計画を策定した後、公共事業評価を受ける際に設定します。	-	-	-			
	(最終目標と目標年度)	-	-	%			
	(最終目標と目標年度)	-	-	%			

活動計画	どうやって目的を達成するか	平成25年5月に基本構想を発表しました。今後は、基本計画策定、公共事業評価を経て設計・施工に着手することとしています。なお、本事業については構想段階であるため、活動指標に対する目標設定は行いません。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	-
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 23年度実績 下段: 24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況評価理由 -
	本事業については構想段階であるため、平成25年度は目標設定は行いません。(平成26年度から設定します。)	-	-	-	
		-	-	%	
		-	-	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	